

ヒブワクチン予防接種の費用を助成

平成 22 年度から加西市の乳幼児に対し、ヒブワクチン予防接種費用を助成します。ヒブ（インフルエンザ菌 b 型）は、乳幼児の細菌性髄膜炎の原因の一つで、発病すると死亡や重度の後遺症を起こすことがある病気です。

■助成対象者・接種回数

対象（接種開始年齢）	接種回数
生後 2 か月以上 7 か月未満	4 回（4 ～ 8 週間間隔で初回 3 回接種。1 年後に追加 1 回接種）
生後 7 か月以上 1 歳未満	3 回（4 ～ 8 週間間隔で初回 2 回接種。1 年後に追加 1 回接種）
1 歳以上 5 歳未満	1 回

■助成額／1 回につき、接種料金の 2 分の 1（上限 4,000 円）

■助成方法／下表の医療機関へ予約後、国保健康課（市役所 1 階⑨番窓口）で申請し、「助成券」を受け取ってください。助成券を医療機関へ提示することにより、費用助成が行われます。

■申請に必要なもの／対象者確認ができる書類（保険証等）・印鑑

■医療機関一覧

医療機関名	医療機関名	医療機関名
あさじ医院 ㊟0225	さかいこどもクリニック ㊟0415	みのりクリニック ㊟8470
安積医院 ㊟0361	さたけ小児科 ㊟1717	三宅医院 ㊟0067
荒木医院 ㊟9711	市立加西病院 ㊟2200	医療福祉センターきずな ㊟2881
大杉内科医院 ㊟0023	西村医院 ㊟0001	※通院または入院児のみ
小野寺医院 ㊟3737	西村耳鼻咽喉科 ㊟6020	
おりた外科胃腸科医院 ㊟6000	堀井内科医院 ㊟0150	

■接種済みの方・上記表以外の医療機関で接種された方へ／すでに平成 22 年 4 月 1 日以降に接種された方や、上記表以外の医療機関で接種された方は、償還払いを行います。「領収書（ヒブワクチン接種料とわかるもの）」、「ヒブワクチン予防接種実施が確認できる書類（予診票控え・母子健康手帳等）」、「口座振替情報（通帳）」、印鑑を持参のうえ、国保健康課へ申請してください。

※**注意事項**／ワクチンの供給量の関係上、申し込み後、数ヶ月お待ちいただくことがあります。ご了承ください。

【問合先】 国保健康課健康担当 ㊟8723 FAX ㊟7521 kenko@city.kasai.lg.jp

平成22年度兵庫県北播磨地域健康大学 参加者募集

加西市医師会では市民の皆さまを対象に「健康大学」を開催します。医師・歯科医師・薬剤師などが、毎回テーマを変えて健康について講義をします。

■日程・場所／加西市健康福祉会館（13:00 ～ 13:30 受付）

日程	13:30 ～ 14:25	14:35 ～ 15:30
9 月 16 日 (木)	「上手に医師にかかるには」 講師／小野寺芳仲（加西市医師会長・小野寺医院）	「消化器がんの外科治療」 講師／生田 肇（市立加西病院 外科）
9 月 29 日 (水)	「アトピー性皮膚炎と皮膚のかぶれ」 講師／鳴瀬一弘（なるせ皮膚科）	「地域医療体制の現状と課題」 講師／山邊 裕（市立加西病院 内科）
10 月 6 日 (水)	「8020 一生自分の歯で食べましょう」 講師／原 雄大（原歯科診療所）	「目の病気と治療」 講師／坂井 譲（市立加西病院 眼科）
10 月 14 日 (木)	「今日からはじめるメタボ予防」 講師／加来友見（加西市国保健康課 保健師）	「介護保険制度と介護予防について」 講師／藤井夏子・北島雅史（加西市長寿介護課）
10 月 28 日 (木)	「婦人科疾患とくに子宮がんについて」 講師／小野吉行（小野レディースクリニック）	「肺がんについて」 講師／奥野恵子（市立加西病院 内科）
11 月 10 日 (水)	「補聴器と耳鳴りについて」 講師／西村俊二（西村耳鼻咽喉科）	「足の動脈閉塞に対する血管拡張治療」 講師／太田総一郎（市立加西病院 内科）
11 月 18 日 (木)	「食事バランスについて」 講師／松岡友美（加西市国保健康課 管理栄養士）	「うつ病について」 講師／岡村健二（市立加西病院 精神科）
11 月 25 日 (木)	「くすりよもやま話」 講師／岡本直子（ハイツ薬局）	「甲状腺機能亢進症と低下症」 講師／横田 誠（横田内科医院）

■定 員／100 名程度※先着順。※希望する講義だけの参加も可能。※参加費は無料。

■申込方法／8 月 1 日（日）～ 31 日（火）の申込期間に、下記窓口（市役所 1 階⑨番窓口）か、電話でお申し込みください。

【問合先】 国保健康課健康担当 ㊟8723 FAX ㊟7521 kenko@city.kasai.lg.jp



加西病院のコーナー

加西病院WEB サイト <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

『高性能診療機器の導入』

■仏心鬼手

今年度、加西病院は、大型診療機器を幾つか更新します。更新とは古い機械を新しいものに買い替えることを言います。更新予定の大型機器は、CT 装置、血管造影装置、核医学画像装置、超音波装置などです。

医療の根本は、病気の人を助けたいという博愛の心にあります。一方、医療には「仏心鬼手」という言葉があります。その意味は、良い医療のためには心だけでは不足で、技術技能が欠かせないという教えです。その技術技能と切り離せないのが日々進歩する医療機器です。医療器械の進歩は現代医学の発展の推進力となっています。

医療機器の更新を行わず古い機械をいつまでも使い続けていると、病院の費用が増えない利点はあるのですが、実際は様々な弊害が医療現場に生じます。例えば、病院職員自身が患者さんに全うな医療を提供しているという自信を無くします。診療所の先生方も旧式の機器で診断してもらうために患者さんを紹介してはくれません。患者さんとして、医療者自身がうんざりしている古い機器で診療してもらいたいとは思わないでしょう。

このように機器の更新は、医療者・患者双方と、地域医療連携のためにも必須の事柄なのです。

■機器更新と経営

では、いくらでも更新すれば良いのかというと、お金の制限があります。機器購入の返済は年割で支払わねばなりません。その財政措置として高度医療に公的な繰入金の投入が認められています。ところが加西市は財政健全化計画で病院への繰入金の額を固定していて、時代の変化に対応しません。他市では病院への繰入金は段々と増加しているため、平成 21 年度決算では加西病院は北播東播 8 病院中病床当たり額が最下位となりました。自治体からの援助が最低のなか、隣市の病院と競争するのはなかなかしんどいことです。

■第 4 回まちかど医療指南の開催

市立加西病院では、医師が直接街角に出向き医療講話を行う「まちかど医療指南」を行っています。今回は、多発し、重症の場合下肢の壊死まで至る閉塞性動脈硬化症の予防等について説明します。是非、お気軽に立ち寄りください。

日時・場所／8 月 3 日（火）16:00 ～ 16:30、アスティアかさい 1 階（コープ前ロビー）

内容・講師／「閉塞性動脈硬化症について」太田循環器副部長

問合先／市立加西病院総務課 ㊟2200

■播磨看護専門学校オープンキャンパス

日時：① 8/7（土）、② 8/17（火）10:00 ～ 12:00 ※①は 8/2（月）、②は 8/9（月）までに電話か FAX で下記まで

場所：播磨看護専門学校（加東市家原 812-1）※当日は上履きをご持参ください。

申込先：播磨看護専門学校 ㊟0795-42-3691 FAX 0795-42-6273

自治体病院の設備投資に当たっては返済期間が決められています。診療機器は通常 5 年です。今回更新予定の機器は全て 5 年以上経っています。使用期間が長くなれば故障も増えます。検査が途中で取り止めになることもあります。そんなとき、患者さんに平謝りする職員は心の中で、ああ貧乏な病院は嫌だ、と呟いているのです。機器更新の遅延は、地域医療崩壊の最大の要因である勤務医の招聘にも悪影響を及ぼします。病院が爪に火を点すように古い機器を辛抱して使っていても、医師は医療する場所に事欠きませんので魅力のある病院に招かれて行きます。吝嗇は一見得なように見えて、結局収入の道を閉ざし経営破綻に向かうことになります。

■機器更新でレベルアップする診療機能

幸い、昨年度の MRI 更新に続き、今年複数の大型機器を更新することで、加西病院の医療機能は好転します。CT では冠動脈造影が可能であり、内臓の三次元画像や他検査との重ね合わせ画像で診断能が向上します。血管造影装置は、心臓の血管形成術や癌の動脈内注入療法に威力を発揮します。核医学画像装置は、認知症の脳機能や冠動脈疾患の機能診断に優れます。質の高い診断と治療を市民の皆さんに受けて頂きたいと思っています。

実は加西病院ではまだまだ沢山の古い診療機器を更新できずにいます。お金が足りないからです。職員のモチベーションを高めて市民に質の高い医療を提供するため、皆様から尊い御寄附を期待しています。病院の機器更新に投資し、市民のための安心な医療にフィードバックします。（病院事業管理者兼院長 山邊裕）



【写真】CT 冠動脈造影画像

今年導入予定の CT 装置では、狭心症や心筋梗塞など冠動脈に生じる病変を、入院せずに数分で行うことが可能です。写真はその紹介画像です。導入は夏頃になる予定です。